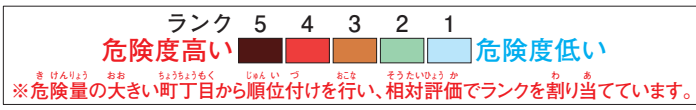
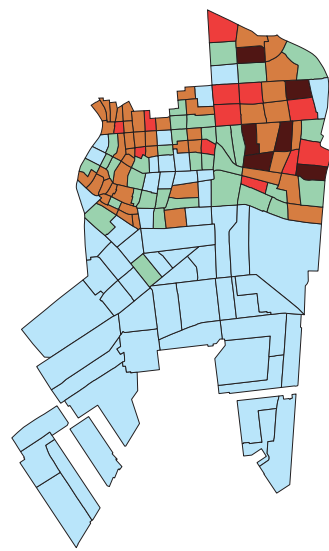


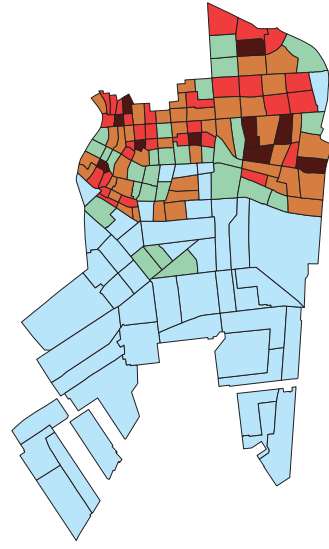
【情報】地域危険度測定調査結果



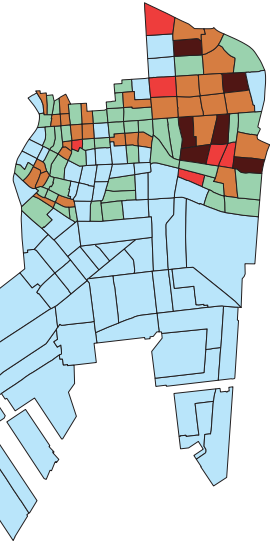
総合危険度



建物倒壊危険度



火災危険度



【計画】地震発生直後の行動ポイント

1 地震が発生したら

とにかく自分の身を守ろう

落下物から身を守るため、机の下に入った、大きな家具から離れるようにしましょう。足のケガを防ぐために靴やスリッパを履きましょう。



3 火の始末が済んだら

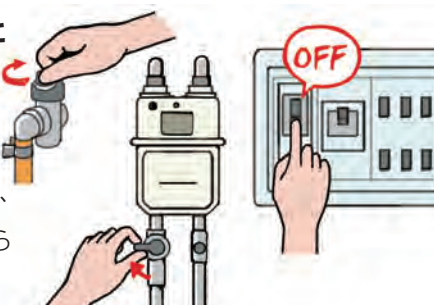
出口を確保する

いつでも避難できるように、部屋の窓や戸、玄関のドアを開けて出口を確保。



5 避難前に確認

電気ブレーカーとガスの元栓の確認を忘れずに、電気ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。



【情報】日頃から備えておこう

① 訓練に参加しよう



災害が起きたときに、何の準備もなく適切な行動をとることは不可能です。災害時に適切な行動をとり、被害を最小限に抑えるには、日頃から防災訓練に参加することが大切です。

② 非常持出品を用意しよう



避難の際に当面必要となる物を用意しておき、それらをリュックなどに入れ、いつでも持ち出せる所に置いておきましょう。

③ 家の中を安全に



二次災害を防ぐために、大きな家具を固定する、ガラスに飛散防止フィルムを貼る、石油ストーブの転倒防止をする、感震ブレーカーの設置などで火災対策を行うなどが大事です。

④ 家族会議を開こう



災害時に家族が離れ離れになってしまう事態ほど不安なことはありません。家族会議で、待ち合わせ場所や、災害用伝言ダイヤルの活用を決めておくことが重要です。

⑤ 避難場所などを確かめよう



災害時の避難所や避難場所だけでなく、一時集合場所なども確認しておきましょう。いつももの道が壊れた建物などで通れない場合に備え、複数の経路を確認することも大切です。

帰宅困難になった時に備え、水、トイレや情報提供の支援を受けられる施設を事前に調べておくことも重要です。

【情報】災害時の情報取得方法

災害発生情報や避難情報は、様々な方法で取得できます。テレビ、ラジオに加え、日ごろから情報入手先を確認しておきましょう。

防災行政無線

区内の小中学校や公園にスピーカーを設置しています。普段は、点検放送として方々にチャイム放送しています。

緊急速報メール・エリアメール

通信混雑の影響を受けずに、携帯電話で区や気象庁などから文字情報を受信することができます。該当する機種なら登録は不要。無料で受信できます。（※各携帯電話会社がサービス提供）

こうとう安全安心メール

メールアドレスを登録し、気象、災害情報、防災行政無線の放送内容、国から発せられた緊急情報（Jアラート）、防犯情報などが受信できます。
anshin.koto-city@raidan.ktaiwork.jpへ空メールを送信し、配信登録を行ってください。右記2次元コードからも行えます。



江東区防災アプリ・江東区防災ポータル

江東区防災アプリは右記2次元コードよりダウンロードできます。江東区防災アプリでは以下の情報を確認することができます。

- 平常時には、日常の交通情報や気象情報など
- 災害時には、平常時の情報に加え、区内の被害情報や避難所開設情報など

※iOSは13以上 Androidは9以上のOSが必要



江東区防災ポータル

江東区防災関連X(旧:Twitter)

江東区防災関連X(旧:Twitter) @koto_bosaiで以下の内容を配信しています。
●平常時は、区からの防災トピックスや関連情報など
●災害時は、区の防災や災害に関する情報、避難行動を促す情報など

その他の情報伝達手段

その他にも、江東区LINE、フェイスブック、ケーブルテレビ、コミュニティFM、Yahoo!防災速報などを活用し、災害関連情報を配信します。

【計画】帰宅困難者心得10カ条

- あわてず騒がず 状況確認
- 携帯ラジオをポケットに
- 作っておこう 帰宅地図
- ロッカー開けたら スニーカー(防災グッズ)
- 机の中にチョコやキャラメル(簡易食料)
- 事前に家族で話し合い(連絡手段、集合場所)
- 安否確認は災害用伝言ダイヤルの活用や速くの報載を通して
- 歩いて帰る 訓練を
- 季節に応じた冷暖準備(携帯カイロやタオルなど)
- 声を掛け合い、助け合おう

【計画】避難所一覧

(この防災マップの地図上に掲載されている避難所の一覧となります。)

避難所は、地震などの災害により自宅での生活ができなくなった住民の生活の場として、区が災害の規模に応じて、区立小中学校等、高等学校、公共施設、民間施設に順次開設していきます。このうち区立小中学校等は、拠点避難所として災害時には最優先に開設され、避難者の受け入れのほかに、①初期における近隣住民の安否確認をはじめとした応急活動、②応急医療活動拠点としての医療救護所設置場所、③在宅避難者を対象とした食料・水・生活物資の配給拠点、④地域の情報収集における活動拠点、としての役割も担います。ぜひこのマップで、最寄りの避難所とともに拠点避難所も把握するようにしてください。

※避難所の受け入れは、自宅が損壊または損壊の危険がある人が対象となります。なお、大地震の後には、建物の応急危険度判定を行いますので、専門家による安全確認を受けてから使用するようしてください。

【情報】非常時の持出品リスト

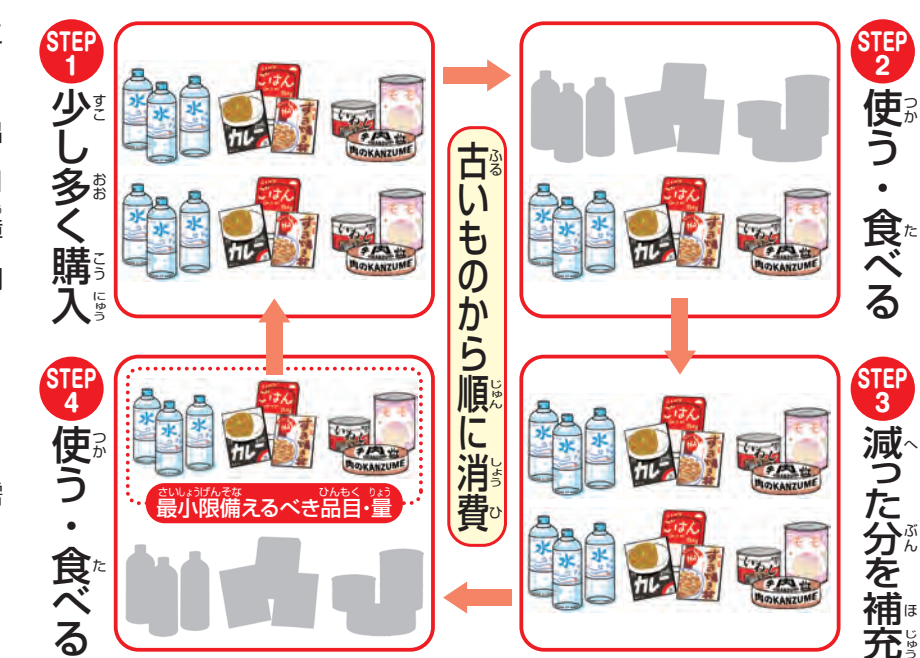
- 水 一人1日 3リットルを目安に
- 非常食 非常時用は保存期間を重視
- 携帯トイレ 1日5回分を目安に
- 携帯ラジオ 手回し充電式のものが多い
- 救急用品 解熱剤やカゼ薬も
- 衛生用品 マスク、生理用品、おむつ、除菌ウェットティッシュなど
- モバイルバッテリー 電池式だと停電時も安心
- 現金 機械破損や停電でATMなども動かないことがある
- その他 ヘルメット、衣類、軍手、マルチツール、処方箋薬など

災害発生時に備え、必要となる物を用意しておくことが大事です。

上のリストを参考に、いざという時にすぐに持ち出せるよう日頃から準備しておきましょう。まずは3日分の備蓄を目標としましょう。また、使用時に支障がないよう、年2回を目安に定期点検をし、賞味期限などを確かめましょう。

日常備蓄について

自宅で生活する上で必要な食料品や生活必需品を、日ごろから備えておくことが重要です。まずは3日分を目標にしましょう。



日常備蓄のイメージ(ローリングストック) 常に少し多めの状態をキープ

【避難】高層住宅における避難行動

地震があった際は、小中学校などに開かれる避難所に避難することが考えられます。耐震や免震にすぐれたマンション等の場合、地震後も建物に安全に住み続けられるならば「在宅避難」が基本です。在宅避難をする場合、マンション等にお住まいの方は、災害協力隊を中心に下記のように行動しましょう。

- 地震発生**
- 自分の身を守る、出口防止、自分と家族の安全確保
- 避難開始**
- 予めマンション等で定めた一時集合場所集まる
 - 火災の状況や建物の損壊状態を確認

火災が発生しておらず、住み続けられるようなら、基本的には在宅避難
火災が発生していたり大破している場合は拠点避難所へ
各戸の安否確認を進め情報を集約する

在宅避難 **拠点避難所**

災害協力隊が避難行動要支援者名簿を保有しているか

- Yes** 名簿に掲載されている各戸へ訪問し、個別計画に基づき安否確認や避難支援を行う
- No** 拠点避難所にある名簿を基に掲載者の各戸へ訪問し、安否確認や避難支援を行う

在宅避難における主な注意点

- 区などからの情報や物資の提供は、拠点避難所に届きます。各マンションでの物資配布は行いません。
- マンションの一部居住者が避難所へ避難する場合もあります。
- 在宅避難している場合でも、情報や物資の入手、また地域への協力として、避難所活動への協力をお願いします。

【計画】大規模水害発生時の避難方法

大規模な水害の発生が見込まれる時には、区や消防署などから防災行政無線などを使って避難の呼びかけをします。

避難の呼びかけがあった際には、区が指定する公共施設や一時避難施設などの避難先へ速やかに避難してください。その際、建物のできるだけ高いところに避難することが大切です。なお、自宅が安全であれば、在宅避難が基本となります。

一時避難施設

区では、荒川の氾濫や津波などの大規模水害対策として、水害時における一時避難施設としての使用協定を企業などと締結しています。

■提供内容 大規模水害の発生時に、企業や共同住宅の指定されたフロアなど(原則3階以上)を開放する。(企業の場合は、原則として勤務時間内に発生した場合のみ)

■施設が開放される期間

- ①大規模水害の発生時 区が避難指示等を発令した時
 - ②津波の発生時 東京湾内に大津波警報が発表された時
- ※区が指定する避難施設まで避難する余裕がない場合は、区内の都営住宅の共用部分への緊急避難が可能です。



【避難】災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、地震などの災害発生により多くの方が一斉に電話をかけ電話がつなかりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。声の伝言板として、家族間での安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。下記の日には、体験利用ができますので、いざというときに備えるために試しておきましょう。

録音方法
171▶1▶(×××)×××-××××▶録音

被災地の方の自宅などの番号を市外局番からダイヤル

再生方法
171▶2▶(×××)×××-××××▶再生

- 体験利用の提供日
- 毎月1日、15日
 - 防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)
 - 正月三が日(1月1日～1月3日)
 - 防災週間(8月30日～9月5日)

【避難】主な防災関係機関の連絡先

江東区役所	☎03-3647-9111	消防(緊急通報119)	
白河出張所	☎03-3642-4456	深川消防署	☎03-3642-0119
富岡出張所	☎03-3642-8306	城東消防署	☎03-3637-0119
豊洲特別出張所	☎03-3531-6316	海上(緊急通報118)	
小松橋出張所	☎03-5606-5581	東京海上保安部	☎03-5564-1118
亀戸出張所	☎03-3683-3734	ライフライン	
大島出張所	☎03-3637-2451	水道局江東営業所	☎03-5633-9053
砂町出張所	☎03-3644-2181	下水道局江東出張所	☎03-3645-9273
南砂出張所	☎03-3640-5355	東京電力機	☎0120-995-002
保健所	☎03-3647-5855	東京ガス機	☎0570-00-2211
清掃事務所	☎03-3644-6216	株 NTT	☎116
道路事務所	☎03-3642-5004	日本・東京建設・治水	
水辺と緑の事務所	☎03-5683-5581	国土交通省荒川下流河川事務所	☎03-3902-2311
警察(緊急通報110)		深川警察署	☎03-3641-0110
		城東警察署	☎03-3699-0110
		東区警察署	☎03-3570-0110
		江東区警察署	☎03-3575-1528
		第五建設事務所	☎03-5875-1435

災害時には電話が大変混み合いますので、くれぐれも緊急以外はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。